

# 北海道東部におけるジュウシホシクビナガハムシ *Crioceris quatuordecimpunctata* (甲虫目: ハムシ科) の初記録

臼井 平<sup>1</sup>・朝香 友紀子<sup>2</sup>

1. 099-4113 北海道斜里郡斜里町本町 49-2, 斜里町立知床博物館 (現所属: 098-5823 北海道枝幸郡枝幸町三笠町 1614-1, オホーツクミュージアムえさし) 2. 060-0810 札幌市北区北 10 条西 5 丁目, 北海道大学環境科学院

## First Record of the Fourteen Spotted Asparagus Beetle *Crioceris quatuordecimpunctata* (Coleoptera: Chrysomelidae) from Eastern Hokkaido, Japan

USUI Taira<sup>1</sup> & ASAKA Yukiko<sup>2</sup>

1. Okhotsk Museum Esashi, 1614-1 Mikasa-chō, Esashi, Hokkaido 098-5823, Japan. ✉ [usu.taira@gmail.com](mailto:usu.taira@gmail.com) 2. Hokkaido University, N10W5 Kita-ku, Sapporo, Hokkaido 060-0810, Japan

ジュウシホシクビナガハムシ *Crioceris quatuordecimpunctata* はアスパラガスを選択的に捕食する農業害虫であることが知られており、アスパラガスムシと呼ばれることもある。1978 年の中根ら (1978) の報告では、分布は本州と九州に限られており、北海道での分布は確認されていなかった。しかし、1987 年に札幌での分布が確認され (西島・斉藤 1988)、それ以降 1998 年に岩見沢 (二口 1998)、2002 年に小樽 (山本 2003)、2006 年に美瑛で発見されており (山川 2006)、北海道での報告が徐々に増えつつあった。しかしこれまでの報告は道央地域に限られており、このたび初めて道東地域の斜里町で本種が確認されたため、ここに報告する。

2012 年 7 月 7 日に、著者らは斜里町来運の来運水の学校 (旧来運小学校) 敷地内の畑で栽培されていたアスパラガス上で本種を多数確認した。なお証拠標本は 99% エタノールで固定後に展肢し、知床博物館に保管されている。

斜里町をはじめ近隣の清里町や小清水町ではアスパラガスを栽培している農家が多数存在してお

り、本種が栽培アスパラガスに被害を与えることが危惧される。そのため、ジュウシホシクビナガハムシの分布状況について今後も注意する必要があるだろう。

***Crioceris quatuordecimpunctata*** (Scopoli, 1763) ジュウシホシクビナガハムシ (図)

標本: 3 exs. 7 VII 2012. 北海道網走地方, 斜里郡斜里町来運. 43°50'6.3" N, 144°38'36.5" E (WGS 84). 臼井平採集.

### 引用文献

- 二口毅. 1998. 庭のアスパラガスにおけるジュウシホシクビナガハムシの個体数の変化と岩見沢市での広がりについて. えぞえんしす 25: 110–114.
- 中根猛彦・大林一夫・野村鎮・黒沢良彦. 1978. 昆虫大圖鑑 2 (第 9 版). 321 pp. 北隆館, 東京.
- 西島浩・斉藤修. 1988. 北海道におけるジュウシホシクビナガハムシの発生. 北日本病害虫研究会報 39: 237–238.

図. ジュウシホシクピナガハムシ  
*Crioceris quatuordecimpunctata*, 内田  
暁友撮影.



山川雄大, 2006. 北海道美唄市からジュウシホシクピナガハムシを記録, えぞえんしす 32: 96.

山本亜生 (編著), 2003. 外来生物とみなとまち小樽: 展示解説書, 48 pp. 小樽市博物館, 小樽.